

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営の基本方針

次の成長ステージに向け経営のギアチェンジを図り、利益成長・企業価値向上を加速させる

連結純利益
6,200億円以上

基礎営業CF
20,000億円

ROE
15%

時価総額
10兆円超

2 中長期の経営戦略

1. 既存事業の磨き込み・拡張

レジリエンスの高い地域ポートフォリオ強化と競争優位性のある既存事業領域への優先配分

3. Global crossvalue …

持続的な企業価値向上の仕掛けとしてグローバルなクロスバリュー基盤を構築・運営

2. 成長への資本配分・投資戦略

成長領域×高付加価値×拡張性を有する戦略プラットフォーム型事業に注力。長期目線の種まきを実施

4. グリーンへの取り組み

2050年までにGHG排出ネットゼロを達成。脱炭素社会・循環経済への移行に貢献

3 対処すべき課題

① 経営環境の急激な変化への対応

- ・生成AI等による産業変革の加速とビジネスモデルのライフサイクル短期化に対応
- ・既存ビジネスモデルの陳腐化リスク克服。商品軸のみでなくソリューション創出へ転換
- ・地政学的リスク、経済と安全保障の連環の高まりへの対処

② サステナビリティ経営への要請対応

- ・環境課題・ガバナンス・人的資本等への対応強化が必要
- ・気候変動長期ビジョンに基づいた脱炭素推進とネイチャーポジティブ実現

③ 成長投資と収益化のバランス

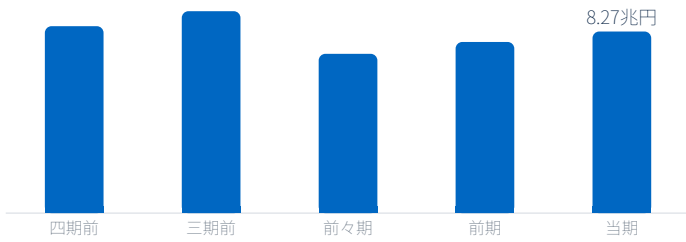
- ・基礎営業キャッシュ・フロー最大化と投資回収の促進
- ・3カ年累計で株主還元後フリーキャッシュ・フロー黒字を維持

面接で使えるポイント

- ・中期経営戦略「GC2027」で2027年度連結純利益6,200億円以上を目指し、経営のギアチェンジを実践する企業
- ・2050年GHG排出ネットゼロ達成とグリーンビジネス化により、サステナビリティと企業価値向上を両立する姿勢
- ・生成AIなど急速な技術変化への対応として、既存事業の磨き込みとグローバルクロスバリュープラットフォーム構築に注力

証券コード 8002

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
8.27兆円営業利益率
－（未開示）財務健康度
49点 / 100点

要するに

日本有数の大手総合商社であり、国内外の広大なネットワークを活用して多角的な事業を

主力事業・セグメント

- ・食品・Agri 45.0%
- ・エネルギー・化学 16.5%
- ・金属・鉱物資源 11.1%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高8.27兆円の大企業
- ・将来性評価は晴れ時々曇り
- ・平均勤続17.8年と定着率が高い

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 67.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収

1,784万円

卸売業内 5位/282社

平均年齢

42.5歳

卸売業内 135位/283社

平均勤続

17.8年

卸売業内 30位/282社

女性管理職

10.4%

卸売業内 74位/209社

男性育休

91.9%

卸売業内 70位/180社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: 丸紅株式会社の完全子会社化および代表取締役交代のお知らせ |

